

# 会 報

2021年12月1日発行

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部  
事務局連絡先 Phone : 080-9194-4715 E-mail : [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)  
支部長 : 加藤信之 事務局長 : 松世麻理子 会計 : 小澤 靖 広報 : 水野俊兵

## 新支部長就任挨拶

皆さんこんにちは。私は、2021年7月から静岡県支部の支部長を仰せつかりました加藤信之（電気電子部門）と申します。日頃から静岡県支部の運営に対しご尽力くださった皆様に感謝と敬意を表します。  
また、今年度は豪雨による自然災害が県内でも多く発生しています。災害により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。



さて、支部長職を仰せつかりまして既に3か月以上経ちますが、振り返ってみるといろいろな仕事があり毎日忙しく過ごさせていただいております。静岡県という地理的な要因もあり、防災関係の業務が非常に多く、静岡県故の重要性を感じております。これらの業務についても何とか滞りなく進捗しているのも、前期より継続していただいている県支部役員の方々、および会員の皆様のご支援ご協力の賜物と痛感しております。今後とも静岡県支部のご支援をよろしく願いいたします。

只今はコロナウィルスまん延をきっかけにして世の中が急激に大きく変わろうとしています。所信表明は前回の年次大会資料にて報告しておりますので詳細説明は省略しますが、当県支部としてもこの変化に乗り遅れないよう、コロナ終焉後の状況を見据え、下記の活動体にシフトしていく所存です。

1. 各種イベントのオンライン化を進め、日本各地、世界各国から参加できるイベントを目指します。
2. 外部への発信力強化のため、見やすい、わかりやすい、親しみの湧くホームページに進化させます。
3. 防災、理科支援、テクノロジーカフェ等を通じて技術士の活躍をアピールし地域社会に貢献します。

コロナの状況は10月より緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ予断を許さない状況と考えております。皆様も気を許さず、今後も感染対策を継続していただきますようお願いいたします。  
そして、コロナ終焉後には、皆様と対面式でのイベントや、イベントの親睦会で直接お会いできることを楽しみにしております。

今後とも技術士会静岡県支部ご支援をよろしく願いいたします。

静岡県支部長 加藤信之

## 2021 年度年次大会報告

2021 年度の年次大会は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで実施しました。オンラインということで、長時間の視聴は厳しいとの考えから開催時間を大幅に短縮しました。そのため本来ならば行はずの質疑応答の時間が足りなくなり、参加された皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

日時 : 2021 年 6 月 12 日 (土) 13:00~13:50

場所 : オンラインで開催。

参加者 : 34 名 (正会員 31 名、準会員 1 名、協賛会員 2 名、非会員 1 名)

※正会員かつ協賛会員が 1 名

開催内容 : 1) 開会挨拶 : 日本技術士会中部本部静岡県支部 支部長 山之上誠

2) 新支部長挨拶 : 日本技術士会中部本部静岡県支部 新支部長 加藤信之

3) 来賓挨拶 : 日本技術士会中部本部 本部長 平田賢太郎 様

元国立大学法人静岡大学学長 興直孝 様

4) 祝辞(読み上げ) : 公益社団法人日本技術士会中部本部 副支部長 野々部颯治 様

5) 報告事項 日本技術士会中部本部静岡県支部 事務局長 岩田良明

5-1) 2020 年度事業報告・決算報告

2020 年事業報告として、CPD例会、防災委員会、テクノロジーカフェ、理科授業支援、浙江省との技術交流などについて報告しました。

- ・CPD委員会 : CPD例会は6回実施
- ・防災委員会 : 技術士以外の組織との交流
- ・テクノロジーカフェ : 残念ながら実施できませんでした
- ・理科授業支援 : 4回実施
- ・浙江省との技術交流 : 「Zoom」を使用した静岡県・浙江省建築交流養成講座」が開催され、山之上支部長、岡井副支部長、馬淵委員が参加しました。

決算についても承認されました。

5-2) 2021 年度事業計画案、予算案

2021 年事業報告として、CPD例会、防災委員会、テクノロジーカフェ、理科授業支援などについて報告しました。

- ・CPD委員会 : CPD例会はオンラインで5回実施
- ・防災委員会 : 技術士以外の組織との交流
- ・テクノロジーカフェ : オンラインで2ヶ月に1回開催
- ・理科授業支援 : 本年度も例年通り実施

決算についても承認されました。

6) 閉会挨拶 : 日本技術士会中部本部静岡県支部 新事務局長 松世麻理子

所感：昨年度は年次大会が中止になりましたが、今年はオンラインで開催することができました。これも役員を始め、関係者の方々のご支援のおかげと深く感謝しています。振り返れば、新型コロナ感染症の影響で従来通りにできなくなったことも多く、なんとか活動を続けようと新しい方法を模索してきた1年でした。今年も足を止めることなく、明るく楽しくチャレンジする1年にしていきたいと思します。(文責：松世)

詳細については、静岡県支部のHPに2021年度年次大会資料を掲載しておりますのでご覧ください。

第3号報告より、協賛会員・県支部役員体制(2021年度・2022年度)についてご紹介します。

県支部の活動をご支援いただいている協賛会員をご紹介します。今年もよろしくお願いたします。

協賛会員（企業）一覧（2021年4月現在15社）（敬称略）

会社名	役職	代表者氏名	住所
(株) 共和コンサルタント	代表取締役社長	杉本 洋	浜松市
(株) 建設コンサルタントセンター	代表取締役社長	小田 秀昭	静岡市
太洋電機 (株)	代表取締役会長	齋藤 智	静岡市
(株) 日本地理コンサルタント	代表取締役社長	山田 巧	静岡市
(株) 東日	代表取締役社長	芹澤 秀樹	沼津市
(株) 中部総合コンサルタント	代表取締役社長	豊田 哲也	浜松市
吉田測量設計 (株)	代表取締役社長	吉田 英司	浜松市
昭和設計 (株)	代表取締役社長	山村 卓道	静岡市
(株) 蓮池設計※	代表取締役社長	蓮池 康彦	浜松市
不二総合コンサルタント (株) ※	代表取締役社長	牧田 敏明	浜松市
(株) フジヤマ※	代表取締役社長	藤山 義修	浜松市
大鐘測量設計 (株)	代表取締役社長	小田 稔彦	島田市
服部エンジニアリング (株) ※	代表取締役社長	服部 剛明	静岡市
静岡コンサルタント(株)	代表取締役社長	森崎 祐治	三島市
富士設計 (株)	代表取締役	小野寺 久子	富士宮市

※は2口加入の会員

県支部の体制は以下となります。(敬称略)

	役 職	氏 名	
中部本部 (太字は中部 本部幹事) ※は委員長	副本部長	加藤信之	
	中部本部幹事	山之上誠・岡井政彦・牧野好秀	
	総務委員会	加藤信之・岡井政彦・松世麻理子	
	倫理委員会	吉田建彦・馬淵大幾	
	企画委員会	牧野好秀・長嶋滋孔	
	教育促進小委員会	吉田建彦・馬淵大幾	
	研修委員会 (CPD 小委員会)	中村 央	
	独立技術士交流委員会	五味道隆	
	修習技術者支援委員会	森 一明	
	試験業務支援委員会	中村 央	
	広報委員会	岡井政彦※・水野俊兵	
	社会貢献委員会 (防災支援小委員会)	馬淵大幾・山之上誠	
	社会貢献委員会 (理科支援小委員会)	吉田建彦・小泉雅弘	
静岡県支部 幹事	支部長	加藤信之	
	副支部長 (広報)	水野俊兵	
	副支部長 (防災)	馬淵大幾	
	副支部長 (事務局長)	松世麻理子	
	事務局補佐	小泉雅弘・(須永浩介)	
	会計幹事	小澤 靖	
	会計補佐	鈴木敏弘	
静岡県支部 委員会幹事 ( )は委員 として参画	CPD 委員会	牧野好秀※・内藤克巳・平野忠幸・中村 央・小澤 靖 土井俊幸	
	広報委員会 (メーリングリスト管理を含む)	水野俊兵※・中村 央・松世麻理子	
	防災委員会	馬淵大幾※・角入一典・山之上誠・吉田建彦 柴田達哉	
	社会貢献委員会	テクノロジーカフェ	山之上誠※・鈴木敏弘・吉田建彦・角入一典・ 岩田良明・岡井政彦
		理科支援委員会	吉田建彦※・小泉雅弘・角入一典
事業開発委員会	土井俊幸※・小澤 靖・岩田良明・平野忠幸 山之上誠・岡井政彦・吉田建彦		
静岡県支部地 区担当	東部担当	土井俊幸○・平野忠幸・(山崎宣良)	
	中部担当	松世麻理子○・小澤 靖・内藤克巳	
	西部担当	馬淵大幾○・小泉雅弘・森一明・(須永浩介)	

※は各委員会の委員長 ○: 地区責任者

## 年次大会記念講演

年次大会に引き続き、オンラインで年次大会記念講演を行いました。

### 1. 概要

日時：2021年6月12日(土) 14:00～15:30

参加者：41名

講演：「高精度衛星測位を用いた自動二輪車センシング基盤の構築と静岡大学土木情報学研究所の設立」

講師：静岡大学土木情報学研究所所長（静岡大学情報学部准教授） 木谷 友哉 氏

### 2. 内容

県内では航空レーザーを使用した点群データと呼ばれる3次元の基盤データの整備が進んでおり、様々な取り組みが始まっていますが、木谷先生は、自動二輪車とスマートフォンによるセンシング基盤と高精度衛星測位による精密な計測により、交通の安全や道路建設/維持/管理の効率化を目指しているとのことでした。静岡大学浜松キャンパスにはRTK-GNSS基準局が設置され、誰でも無償で使用できるとのこと、浜松キャンパスを中心とする半径10kmの地域で、センチメートル精度の地上位置をリアルタイムに計測可能とのことなので、研究開発やビジネスへの応用（例えば、自動運転、災害対策など）に夢が広がると思いました。

（文責：松世）

## 合格者説明会

技術士二次試験の合格者2名をお迎えして、合格者説明会をオンラインで行いました。

### 1. 概要

日時：2021年6月26日(土) 13:00～15:00

参加者：16名（合格者2名、役員14名）

### 2. 内容

山之上支部長の挨拶、岩田事務局長からの日本技術士会静岡県支部の活動紹介、技術士制度の動向と課題、日本技術士会中部本部についての説明の後、合格者と支部会員との意見交換を行いました。

コロナの関係で親睦会も中止しています。直接お会いして親睦を深めたかったところですが、それはアフターコロナの楽しみとしたいと思います。

### 3. 所感

合格者が2名というのも少々寂しい気がします。これもコロナの影響で受験者数が少なかったことが影響しているものと思われます。合格者を増やすためにはコロナの早期終焉は必要ですが、そもそも受験者数を増やす必要があります。そのためには、やはり、技術士に対し魅力を感じていただけるよう技術士活動を社会にしっかりとアピールすることが大事だと思います。

話はそれでしたが、まずは、合格者の皆様のご活躍に期待したいと思います。

## 理科特別授業を実施しました

2021年6月、7月に県内の小学校2校で理科特別授業を行いました。

### 1. 浜松市立神久呂小学校 理科クラブ

担当：岡井政彦（電気電子）

テーマ：モータを作って回してみよう

#### 概要

エナメル線でコイルを、紙コップとクリップでモータの台と軸受を作り、電池と磁石を準備してモータづくりに挑戦しました。

理科クラブの構成は6,5,4年生と高学年から中学年まで参加範囲が広く、4年生には少し工作が難しかったかも知れません。うまく回らなかった子が7人ほどいました。モータのコイルを上手に作るが大変だったような気がします。

最後に、モータは日本の社会の中でどのように使われているかを、絵と写真で解説しました。



モータの実験

### 2. 袋井市立今井小学校 6年生

担当：角入一典（建設）

テーマ：土の種類による液状化現象の違い

#### 概要

標高50m以上にある富士山の町富士宮市と標高10数mに都市機能が集まっている袋井市を教材としました。地形や土の種類、気

候風土の違いで災害の種類や形、リスクも異なり、地場産業や地域の成り立ちも違ってくること、この違いが地域の個性であるので地域の個性を知ること、災害に備えることができることを学びました。

生徒の持っているタブレットで袋井市役所作成の「液状化危険度マップ」中の「液状化の仕組み」の項目を調べて、どのような条件がそろえば液状化しやすいのかを学び、なぜコンクリートのマンホールが浮き上がるのかなどを考えてみました。

また実際に、水槽に砂と水を入れて液状化の実験を行い、袋井市の「液状化ハザードマップ」を見て今井小学校の周辺の液状化リスクを調べてみました。

最後に液状化以外の災害リスクの可能性も考えて、大きな災害に備え身の安全を守ること、さらに地域の災害を考えること、袋井の太田川の流域全体の災害などを考えてみました。

授業を通じて、自分たちの安全なまちづくりを進めることを考えてみるキッカケづくり、総合学習として地域の事を学ぶ手がかりを子供たちが学んでくれたと思います。



液状化の実験

（文責：岡井）

## 第3回防災・減災ワークショップ参加報告

開催日時

2021年7月31日（土）13:30-16:30

1. 開催場所 静岡県地震防災センター  
（静岡市葵区駒形）
2. 主催者  
東北大学災害科学国際研究・  
（公財）中部科学技術センター・  
静岡県地震防災センター・  
静岡大学防災総合センター
4. 協賛 中部電力株式会社
5. 参加者 柴田、山之上、吉田、角入、大嶽、池谷、加藤、馬淵（8名）



減災ワークショップチラシ

### 6. ワークショップと活動の概要

「逃げる“かがく”は役に立つ」をテーマに、主に小学生の親子を対象としたワークショップで、第1部の「聞いて学ぼう」のセッションでは、東北大学の保田真理先生と静岡大学の原田賢治先生の講義を受講し、第2部の「体

験して遊ぼう」のセッションでは、地震防災センターの既設の展示物を見学・体験し、第3部の「みんなでシェアしよう」のセッションでは、静岡大学の学生が主導して親子の感想を整理する、3部構成のワークショップであった。64人の親子が参加した。

技術士会静岡県支部は、第2部の「体験して遊ぼう」のセッションで地震防災センターの既設の展示物の説明を手分けして担当した。説明に当っては「日本技術士会静岡県支部」と表記したビブスを着用し「技術士」の知名度向上にも配慮した。

事前打ち合わせ等は柴田氏が中心的に行い、他のメンバーに周知する形式で進めた。

### 7. 所感

昨年まで実施していた技術士会独自の展示コーナーは、無くなったので準備の負担は低減した。地震防災センターの展示物の説明は、イベント運営上の時間制限があり、時間内で説明し切る工夫が必要だと感じた。



ワークショップで説明する山之上氏

（文責：馬淵防災委員長）

## テクノロジーカフェ再開しました

テクノロジーカフェは、従来通り、NPO法人静岡団塊創業塾（原田理事長）が運営するシニアライフ支援センター「くれば」の活動に組み込まれ実施する。

新型コロナウイルス感染症対策の影響で、オンライン（Zoom方式）により、NPO法人の会員と当支部会員が同時に参加する講演会となる。

具体的な活動は、支部役員から専門員6名が選任され、年度の事業を具体化することになる。具体的には、講演の題目、年間の回数、頻度に関すること、謝金（2018年度4月より支給）について検討していく。

講演の題目は、過去に実施した56回の実績を参考にしつつ、時代に即したタイムリーな話題を提供していく。聴取者になる一般の方は知識欲の高いシニア層の男女が多い。そのためにも産業界で貢献する技術を分かりやすく説明することがポイントになる。県支部として、テクノロジーカフェの存在価値を高めるためにもこの課題を克服していきたい。

6月18日に再開して以来の現状の活動を報告する。

テクノロジーカフェの回数は、今年度6月を1回目として2か月に1回のペースで開催する計画とした。今までとは違い、講演者による題目に対する事前のプレゼンテーションの場を作り専門員からの意見を踏まえ本番に臨む手順とした。

専門員会議は、6/26（7人）、8/5（7人）、9/16（8人）以上を実施した。

10月については検討中であるが予備の専門員会議を10/7を予定している。

テクノロジーカフェ第一回は6/18（金）19時開催、一般5名、支部会員6名 計11名が参加した。



6/18資料の一部

講師役の松世麻理子会員（情報工学）が「プログラミングって何でしょう？」と題し、プログラミングとは何か、および小学生にプログラミングを教える意味について発表した。対面と違い理解しているのかどうかの確認に苦労したようである。

2回目は8/4（水）14時開催、一般8名、支部会員5名 計13名が参加した。講師役の中村央会員（生物工学）が「新型コロナウイルスの生存戦略とワクチン」について講演と質疑応答を行った。身近に起きているタイムリーな話題で関心は高かった。



8/4資料の一部

一般の方にわかりやすく伝えるのは簡単なようで難しい。引き続き会員の皆様のご支援ご協力をお願いしたい。

（文責：山之上社会貢献委員長）



## CPD 第二回講演会

### 1. 概要

日時：2021年8月21日(土) 14:10～15:40

参加者：49名

講演：「静岡理科大学土木工学科新設に  
際しての教育・研究の展望」

講師：群馬大学大学院 理工学部  
環境創生部門 助教

松本 健作 氏

### 2. 開催内容

#### (1) 静岡理科大学 理工学部 土木工学科 新設の概要

① 土木工学科が設置された理由：静岡県は、鉄道、港湾、空港を完備した交通の要所であり、かつ日本有数の山岳地である。一方、県内の大学では、土木工学科がなく土木を大学で学ぶことができない状況下である。

② 地元建設業界・行政の期待：土木を専門とした若手技術者が不足、県内企業向けアンケートでも、土木工学設置に大きな期待がある。

#### (2) 研究テーマ (現物に触れ、自由に発想し、 自ら気づく)

① 「現物に触れる・のぞいてビックリ 1」：学生への研究テーマの関心として、現物に触れることを重要視する。テーマは、桐生川の河川堤防近傍伏流水観測である。ボーリング穴（上流孔、下流孔）から、数々のビックリを実体験していく。まず、孔内水位が地形勾配と逆であること、次に河川からの伏流水の水位が違う点、更に、地下水の伏流水の水流速が想定よりも桁数が違うことを発見。そこで、実際に観測孔をモニタリングする。観測装置は3Dプリンターで自作して創意工夫を設ける点も大切である。

② 「のぞいてビックリ 2」：上流孔と下流孔

でそれぞれ電気伝導度 EC を測定。下流孔は EC 一定に対して、上流穴は深度が浅い所では、EC が一定、深度が上昇するにつれ、EC が変動、更に深度が上昇すると EC が一定となる。異なる水質が混合されると EC が変化(振動)する点に着目。これを工学への応用として、堤防の基盤漏水検出へ展開。堤防内で EC 振動が発生すれば、そこに漏水が発生している可能性が高いと判断できる。従来の漏水検出方式との併用により、より精度の高い漏水確認が期待される。

③ 「のぞいてビックリ 3」：上流孔、下流孔内をのぞくと、そこには、大量の魚（地下水生生物）が存在していた。更には、C14 年代測定法により、これら水生生物が 400 年前の有機物で構成されていることを発見。400 年前の西暦 1600 年代、当時の桐生市地域が開拓された時代と一致する。開拓時に何かしらの有機物が取り込まれ、それが今日まで循環していると推察される。まさにびっくりである。

④ まとめ：研究テーマに対して 4 つのツール（地学、物理、生物、化学）を活用。研究テーマは大まかに作り、現象/社会的背景/新技術/既往研究の側面から、学生が自ら考えて、進めていく。過保護な対応では、学生が成長せず、またその機会を奪ってしまう。

#### (3) 研究・教育の今後の展望

静岡理工科大のコンセプトは、「現物主義、研究力が人を育てる」である。静岡県の防災・減災のフィールドワーク中心のプロジェクトを実施し、地域と連携により、フィールドにおける自ら課題を発見していく。静岡で育てた土木学生が静岡を守っていく。

### 3. 所感・アンケート結果

#### (1) 所感

講師の研究に対する考え方、学生の真の成長を願う意思を強く感じた。現物主義、自ら触り、気付く、考えていく姿勢は、学生に限らず、社会人・技術者に対しても大切が考えである。研究では、土木工学に限定せず、地学・物理・生物・化学と幅広い科学的視線からアプローチする試みがビックリであった。

#### (2) 受講者区分

Web 講演会のメリットにより、参加いただ

いた受講者の 45%は静岡県外であり、全国規模であった。受講者年齢は 50 代・60 代で 2/3、参加者の正会員が 55%であり、未会員・一般者の参加も多く見られた。

#### (3) 参加者コメント (一部・抜粋)

- ・学生の課題発見能力や解決能力を引き出すような導き方は非常に興味深い
- ・堤防の安定に重要な漏水の興味深い講演であった
- ・坑内からの古代微生物が発見されたのが興味深いと感じた (文責：内藤)

## 役員の紹介

今号より県支部の役員の自己紹介を掲載します。みなさん、役員にお気軽にお声がけください。  
第 1 弾は、事務局長の松世さんです。



初めまして、今年度より事務局長を拝命しました松世麻理子です。富士通で長らくソフトウェア開発に従事し、現在は IT サービス管理システムの構築サービスを行っています。2018 年に情報工学部門で技術士になりました。

趣味はフルートを吹くことと地元の J リーグチームの応援です。フルートは大人になって始めたので、なかなかうまくありませんが肺活量の維持には役立っている

ようです。カッコよくジャズを吹く自分を思い浮かべながらドレミの練習をしています。J リーグチームは設立の時から家族全員で応援していて、ホームゲームにはレプリカユニを着て、家族揃ってスタジアムで観戦しています。

最近夕食のあとに手乗り文鳥のモモちゃんと遊ぶのが日課です。1 歳半くらいのオスの文鳥で、気が強いのに寂しがりで、構ってもらえないと呼びかけてきたり、カゴから出してもらいたくて入口で待っていたりと、なんともいえずかわいく、一日の疲れも忘れてしまいます。



モモちゃん

事務局長という大役を軽い気持ちで引き受けてしまいましたが、後から責任の重さにじわじわと緊張が高まっています。皆様のご支援ご協力をよろしく願います。

## 新任役員の紹介

平野忠幸さん 建設部門、総監部門

はじめまして、平野忠幸です。

今回、静岡県庁、大学の先輩でもある前事務局長の岩田良明氏から話をいただき（半ば強制的かな？）、理事に就任することになりました。

私は、県庁の土木技師として勤務し、平成10年に建設部門、平成14年に総合技術監理部門の技術士を取得しました。

技術士会への入会は、定年退職後の令和元年5月とごく最近です。入会の動機は、技術士会静岡県支部と静岡県交通基盤部との協定締結の当事者になったことで、退職を機に何かお手伝いできることがあればいいかなと軽い気持ちからです。



災害協定締結式（左から2人目が筆者）

そんな訳で、入会してまだ日も浅く、静岡県支部の活動、人や組織の何たるやもわからず、ましてやりモートなどと縁遠いわが身にとっては、まずは人を知り、ZOOMに慣れることが、コロナ禍における喫緊の課題となっています。

活動がスタートし、戸惑いを感じることもありますが、皆様方のさらなるご指導、ご支援をいただきながら、活動を全うしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

須永浩介さん 電気電子部門

この度事務局補佐に任命されました須永浩介と申します。



ローム浜松（株）所属の企業内技術士として、主に電気設備を中心とした付帯設備を維持・管理しております。

出身は埼玉県草加市で、現在は掛川市に自宅を構えております。最終学歴は日本大学大学院の物理学専攻を修了しました。

趣味は乗馬で、実業団の団体戦で数回優勝した経験があります。現在は実業団を退団していますが、調教をメインに乗馬を続けております。また、乗馬クラブに来ている獣医からの紹介で保護犬を飼うことになりました（下記）。現在2匹目で、どちらも徐々に人を信用してくれることに喜びを感じております。

最後になりますが、1日でも仕事を早く覚え、県支部の皆様へ貢献できるようになりたいと考えております。静岡支部に入会して日が浅く不慣れでは御座いますが、先生方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



1代目:クラブ既舎前にて



2代目:6月より引き取り

## ■情報配信のお知らせ

以下でも情報配信を行っています。最新情報はこちらをチェック！

Facebook



Linkedin



Twitter



note



## ■今後の行事予定

No	日時	行事
1	2021年12月11日(土)	静岡県支部 CPD 第四回例会 (オンライン方式)
2	2021年12月16日(木)	第四回テクノロジーカフェ (オンライン方式)
3	2022年2月17日(木)	第五回テクノロジーカフェ (オンライン方式)
4	2022年2月26日(土)	静岡県支部 CPD 第五回例会 (オンライン方式)

※会員の方には、メーリングリストにて随時行事の案内をお知らせ致します。

## ■編集後記

静岡県支部会報 173 号をお読みいただきありがとうございます。

新役員となって初めての会報ということもあり、編集が遅れに遅れてしまいましたが、なんとか完成することができてホッとしています。

編集にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。そして読者の皆様、どうか最後まで読んで頂き感想などお寄せ頂けたらと思います。(広報委員会)

ご意見ご質問は、事務局メール宛てにお願いいたします。

事務局メールアドレス：ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp



中部本部 静岡県支部

事務局：〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町 1-5-6

TEL：080-9194-4715 E-mail：ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp

<http://ipej-shizu.sakura.ne.jp>